

会 議 録

会 議 の 名 称	平成26年度第3回行財政改革推進委員会
開 催 日 時	平成26年9月14日（日）10時00分から11時50分まで
開 催 場 所	吉川市役所 204会議室
出 席 委 員 氏 名	大塚祚保委員長、間宮玲子副委員長、伊藤博章委員
欠 席 委 員 氏 名	なし
担当課職員職氏名	政策室副室長 中村詠子、政策室行政改革担当主査 櫻井敬雄 政策室行政改革担当主任 松井 勉
会 議 次 第 及 び 会 議 の 公開又は非公開の別	1 開会 2 あいさつ 3 議事 第4次よしかわ行財政改革大綱及び推進プラン策定について 「第4次よしかわ行財政改革大綱」体系の検討② 資料1 4 その他 5 閉会 すべて公開
非 公 開 の 理 由	なし
傍 聴 者 の 数	0名
会 議 資 料 の 名 称	次第、座席表、議案書、参考資料
会 議 録 の 作 成 方 法	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
会 議 録 確 認 指 定 者	間宮副委員長、伊藤委員
そ の 他 の 必 要 事 項	なし

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）	
1 開 会 司会（櫻井主査）	<p>————— 《開 会》 —————</p> <p>ただ今より、平成26年度第3回行財政改革推進委員会を開会する。</p>
大塚委員長	<p>————— 《あいさつ》 —————</p> <p>秋の行楽日和のなか、しかも午前中のお忙しいなかでの会議となるが、よろしく願い申し上げます。</p>
司会（櫻井主査）	<p>————— 《議事審議》 —————</p> <p>それでは、これより議事に入る。議事の進行については、大塚委員長にお願いする。</p>
大塚委員長	<p>それでは、議事「第4次よしかわ行財政改革大綱及び推進プラン策定について」について、資料に沿って検討していく。「1 第2回行財政改革推進委員会での主な意見」では前回の意見についての記述があるが、他に何か意見等はあるか。</p>
委員	<p>（特になし）</p>
大塚委員長	<p>次に資料の「2 体系案」についてであるが、これについては事務局より報告をお願いする。</p>
松井主任	<p>資料の2の体系案について説明。第2回行財政改革推進委員会での意見を基にした7案を説明。</p>
大塚委員長	<p>事務局より体系案について説明があったが、実態上では案7が体系としてはふさわしいと思う。事業部門が将来都市像とまちづくりの基本理念に沿った事業を行い、管理部門、総務部門が、行革といった視点からの進行管理を行う。事業を実施する部門と別の視点から進行管理をすることによって組織が活動していく。そうすると総合振興計画と行財政改革大綱は、案7のように分けた形で表すことができるのではないか。双方から取り組むのが良いと思う。他の委員はどうか。</p>
伊藤委員	<p>市が今後向かうべき方向として、将来都市像という目標があるため、行革でもピラミッドの一番上は将来都市像がくるものと考ええる。その下に基本理念がきて、その下に何を入れるか。市民主役と健全財政の枠からは抜けられない。経営資源の面で考えると各地域の資源には差が出てくるため、各地域の資源を向上させて</p>

	<p>行革に結び付けられればと思い、案6がいいと思う。総合振興計画27頁の土地利用構造図の6つの地区を地域の豊かさと結びつけることができればいいと思う。</p>
大塚委員長	<p>今回は改革項目まで議論するのか。</p>
松井主任	<p>改革項目案をみながらの検討となるため、今回は議論をする必要はない。</p>
間宮副委員長	<p>各課からプランが出てくるのか。</p>
松井主任	<p>今後、全庁に照会をかけてから、各課から出てくることとなる。</p>
大塚委員長	<p>主導するのは各課なのか、それとも政策室なのか。</p>
松井主任	<p>両方あると思う。まずは各課から改革案を出していただき、さらに、他市の事例を参考に当市で実施できそうな事例があれば、推進プランに入れていきたい。</p>
伊藤委員	<p>地域の実情を把握しているのは各課だと思う。各課から挙げてきたものに、健全財政、市民意識、選択と集中というスクリーンをかけて、そこを行革委員会がやっていけばいいと思う。</p>
間宮副委員長	<p>総合振興計画の6つの地区で分けた場合、それがそれぞれの地域の豊かさにはつながらないと思う。住宅系地域、農業系地域という区分けよりも吉川市全体という区分けだと思う。</p>
伊藤委員	<p>地域の特徴を出していこうということである。</p>
大塚委員長	<p>選択と集中とはどういうことか。</p>
伊藤委員	<p>健全財政と市民意識をみるだけでは足りないため、そのへんのバランスをとるのが選択と集中である。優先順位を加味した事業を実施していくべきだと思う。</p> <p>市民意識調査で、市民満足度は高いのに今後も住み続けたいかと質問すると数字が下がる。そこがポイントではないか。住みやすいけど愛着がない。どこに原因があるかなど分析していかないといけない。</p>

間宮副委員長	住みやすいか住みにくいかという問いに対しては、住みやすいと回答している市民が多くいる。しかし、吉川市が好きだから住んでいるという人はそれほど多くはないと思う。普段の生活に問題がないから住みやすいとしているだけで、今後も吉川市に関わりたいというのであれば、市民が行政にもっと関心を持つと思う。何を目指すのかが大切であり、それがクリアできれば自然と移り住んでくると思う。
伊藤委員	行革委員会では、大柱、中柱を見ていくぐらいしかできないだろう。地域の豊かさでなく重点テーマでもいい。先ほど副委員長から意見があったが、地域で分けた場合に、道路を挟んで方針が変わるのもどうかと思う。いずれにしてもスクリーンを通すということが大切である。
間宮副委員長	各地域ではなく、まち全体で考えた方が良いため、「地域の豊かさ」は除いた方がよい。案4を改めたようなものになるのがいいと思う。
伊藤委員	地域の特色がないと、まち全体が平均的なものになってしまうと思う。
間宮副委員長	地域によって、差が出る方が良くないと思う。
大塚委員長	吉川市は川に囲まれた地域資源があるため、これらの地域特性を活かしても良いと思う。
中村副室長	この地域にはこの事業は無駄ではないかという意見が出てくると思われる。スクリーンのなかに「地域の特性」を活かすといった項目を入れるということではいかがか。ちなみに、これまでは地域の豊かさを市全体として捉えている。
大塚委員長	地域の考え方は小学校区とかなのか。
中村副室長	自治連合会ごとで考えることが多い。
伊藤委員	先程の「地域の特性」をスクリーンに入れてもいい。柱分けは改革項目が出てきてからでいいのではないか。
松井主任	将来都市像—まちづくりの基本理念—スクリーンの4項目（健

	<p>全財政、市民意識、選択と集中、地域の特性)がピラミッドとしてあり、その下に改革項目がぶら下がるといった体系でよろしいか。</p>
伊藤委員	その通りである。
櫻井主査	スクリーンのキーワードを挙げていただいたので整理してお示ししたい。
間宮副委員長	「市民主役」ではなく、「市民意識」でいいのだろうか。
大塚委員長	市民が自主的に行っていただきたいという思いがある。意識だと市民がどう考えているかにウエイトがいつってしまうため、「市民主役」がいいと思う。
伊藤委員	「市民主役」でいい。
大塚委員長	<p>それでは、案6の「地域の豊かさ」のところに、スクリーンの4項目（健全財政、市民主役、選択と集中、地域の特性）を入れ替えるという体系でよろしいか。</p> <p>(委員了解)</p>
大塚委員長	これで体系についての検討は終了となるが、今後はどのように進めていくのか。
松井主任	今後、各課に照会をかけて改革項目を挙げてもらい、次回の委員会では、改革項目の柱立てを検討していく。
大塚委員長	では、今回の委員会はこれまでとし、次回は、10月25日(土)の午前10時に開催とする。
司会(櫻井主査)	<p>————— 《閉 会》 —————</p> <p>以上で本日の委員会の議事を終了とする。これをもって、平成26年度第3回行財政改革推進委員会を閉会する。</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。 平成26年9月24日</p> <p>署名委員 (間宮副委員長 自署) 署名委員 (伊藤委員 自署)</p>	